

2018年4月26日(木)スタート

第52期

# R&D

Research and development

# マネジメント交流会議

『R&Dスタッフによる異業種交流、相互啓発、共同研究』

## 開催にあたって

R & Dマネジメント交流会議は、R & Dスタッフの相互啓発と異業種交流を目的として1967年の創設以来、半世紀にわたってメンバー間の活発な研究と討議を重ねてまいりました。

第52期となる今期は、「新規事業を創出し、企業の成長と持続的発展を実現するR & Dマネジメント」を基本テーマとして活動いたします。

わが国を取り巻く環境は激しく変化していますが、いかなる状況にあってもR & Dは企業の存続と将来に不可欠であり、そのマネジメントが重要であることは言うまでもありません。半世紀に及ぶ活動が実証するように本会議は、メンバーシップを基本として互いに学び合い、R & Dマネジメントのあるべき姿を探求する場でございます。異業種間による情報交換や人的ネットワークの形成、さらには各自の課題究明の絶好の機会として、皆様のご参加をご期待申し上げます。

## 第1回例会

日時:2018年4月26日(木) 13:30~18:30

会場:「アイビーホール」(東京・表参道)

※入会ご検討中の方は第1回例会に限り、無料で体験参加いただけます。

### 基調講演

## 「我が国の科学技術戦略および産学連携の動向と今後への期待」

～オープンイノベーションを掛け声だけに終わらせないために～

- ・我が国の科学技術行政及びJSTの概要
- ・SDGs及び第5期科学技術基本計画とSociety5.0
- ・JSTの取組みと今後の展望

国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)

産学連携展開部 部長 **金子 博之 氏**



**略歴** 1988年東京大学工学部卒業。2000年まで三菱電機株式会社にて原子力発電所システム開発・設計に従事。2000年JST入職。入職以来基礎研究事業(CREST、ERATO等)の運営に携わる。2013年からは産学連携事業を担当。JST以外では放送大学非常勤講師として「先端科学技術の政策と事例」講座を担当。

**オリエンテーション** 本会合の進め方、運営幹事紹介、情報交換会等

**懇親パーティー**

## 第2回例会

日時:2018年5月17日(木) 13:30~17:00

会場:「アイビーホール」(東京・表参道)

### 基本解説 「R&Dマネジメントの基本的考え方」

R & Dマネジメント交流会議 コーディネーター **高橋 富男 氏**

### テーマ 「企業成長に寄与するR&Dマネジメント」

～メンバー相互で知見を交流し、R & Dマネジメントを考察～

## 第3回例会

日時:2018年6月22日(金)・23日(土) **合宿**

「今井浜東急ホテル」(静岡県)

## 「メンバー各社のR&Dマネジメントの現状と課題」

～異業者各社のR&Dスタッフが抱える問題や課題について意見交流～

# 参加対象

※意見交換のできる方でしたら、お役職は問いません。

- ・R&Dマネジメントについて明確な問題意識を持ち、積極的な意見交換を希望される方々
- ・事業会社の研究・技術開発部門を中心にR&Dマネジメントに携わる方々

# 開催要領

- 期間** ▶ 2018年4月～2019年3月(全12回)
- 日時** ▶ 原則として年間プログラムの開催日程に沿って開催 〈13:30～17:00〉
- 会場** ▶ 東京都内会議室 \* 運営上の都合により、日時を変更する場合がございます。  
\* 例会の詳細は、事前にメールでご案内いたします。  
\* 合宿および見学会は詳細が決定次第、ご案内いたします。

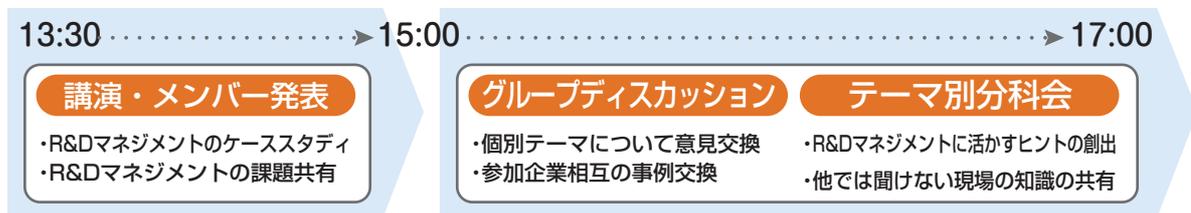
**運営体制** ▶ 本会合の企画・運営にご参画いただきます。 (順不同・敬称略)

運営幹事	積水化学工業(株)	LBプロジェクト 事業開発室 企画・営業グループ長	加藤 清一
	ヤマハ発動機(株)	企画・財務本部 コーポレートコミュニケーション部 企画グループ 主管	海野 敏夫
	(株)村田製作所	技術・事業開発本部 技術企画統括部 技術管理部長	林 幹生
	旭硝子(株)	技術本部 商品開発研究所 企画・管理グループ 企画チーム テーマ推進ユニットリーダー	宗吉 亮太
	オリンパス(株)	イノベーション推進室 技術戦略部 部長	堀内 勝司
	日本電気(株)	IoTデバイス研究所 主任研究員	弓削 亮太
	キリン(株)	R&D本部 研究開発推進部 主査	篠原 浩美
アドバイザー	ダイキン工業(株)	テクノロジー・イノベーションセンター 部長	東 研一
	(株)資生堂	フロンティアサイエンス事業部長	植村 真樹
	トヨタ自動車(株)	未来創生センター T-フロンティア部 グローバル企画室 戦略企画グループ	牧野 玲子
	元キヤノン(株)	材料技術研究所長(企業研究会 研究アドバイザー)	村井 啓一
	T&M研究会	元日東電工(株) 技術企画部長(企業研究会 研究アドバイザー)	六車 忠裕
コーディネーター	東北大学	グローバル安全学教育研究センター 特任教授	高橋 富男

## 年間プログラム ▶



**通常例会** ▶ 通常例会は下記の構成で行います(時間配分は目安です)。



## 合宿研究会 ▶

異業種各社のR&Dスタッフが抱える問題や課題について相互に学び合い、知的交流を深めます。一泊二日にわたる合宿は、人的ネットワーク構築の好機です。



第1回合宿研究会(6月)

メンバー各社のR&Dマネジメントの現状と課題



第2回合宿研究会(2月) テーマ別分科会による集中議論

## 合同見学会 ▶

企業の研究所等の視察見学と意見交流を行います。見学会は、企業研究会が主催する他の研究交流部会と合同で開催することで、見聞を広めると共に人的ネットワークの更なる充実を図ります。



前期(第51期)見学会

見学先/産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所(福島県)



### 企業の競争力を高めるR&D戦略の立案

- ・ R & Dを方向付けるビジョン、経営戦略とR & D戦略の整合性
- ・ コア技術の明確化と強化、拡充
- ・ コーポレート研究と事業部門研究のミッションと連携
- ・ 将来の市場、技術予想とロードマップの作成
- ・ 「選択と集中」の技術ポートフォリオマネジメント
- ・ R & D部門のグローバル化対応

### テーマ・マネジメント(探索、推進、評価)

- ・ テーマ探索の具体的方法とマネジメント
- ・ コア技術戦略の布石、融合、展開
- ・ 社会トレンドとテーマ設定の方向性
- ・ テーマの発案と評価、推進のマネジメント
- ・ 研究フェーズと開発フェーズのマネジメントの相違

### R&Dマネジメントの役割と目的

- ・ R & Dの目的とイノベーション
- ・ 企業とイノベーション創出
- ・ R & Dでのリーダーシップとマネジメント
- ・ 勝てるR & D戦略、差別化戦略、知財戦略
- ・ 求められるR & Dマネジメント  
(経営にインパクトを与える成果を得る仕組みづくりとサポート体制の整備)
- ・ R & D部門における企画の役割

### R&D成果の事業化と新規事業創出

- ・ 事業価値を考えたR & D成果の活用
- ・ R & Dとマーケティング、オープンイノベーション
- ・ プロジェクト推進とゲート評価
- ・ 研究から開発、事業化へのプロセス、死の谷の克服
- ・ 新規事業創出の要件
- ・ ビジネスモデルの探求とテーマ創出

### 組織と人材のマネジメント

- ・ 組織を不活性化させない仕組みづくり
- ・ 創造的組織・風土の醸成
- ・ カオスと秩序のバランス
- ・ 創造的人材の発掘と育成
- ・ スペシャリスト、プロデューサー、リーダーの育成施策

## R & Dマネジメント交流会議の特徴と方針

### 特 長

- 1.異業種交流を深めることにより、業種・業界の壁を越えた新しい発想や手法を学ぶことができ、なおかつ社外の**ネットワーク**を広げ、**パーソナルバリュー**の向上が図れます。
- 2.R&Dマネジメントの新しい流れや考え方、実践手法について、外部ゲストやメンバーによる事例研究により**最新の情報を収集**できます。
- 3.情報交換だけでなく、その背景にある実務に直結した**ノウハウの交換**が行えます。また、必要に応じて**メンバーの相互訪問**も行えます。

### 基 本 方 針

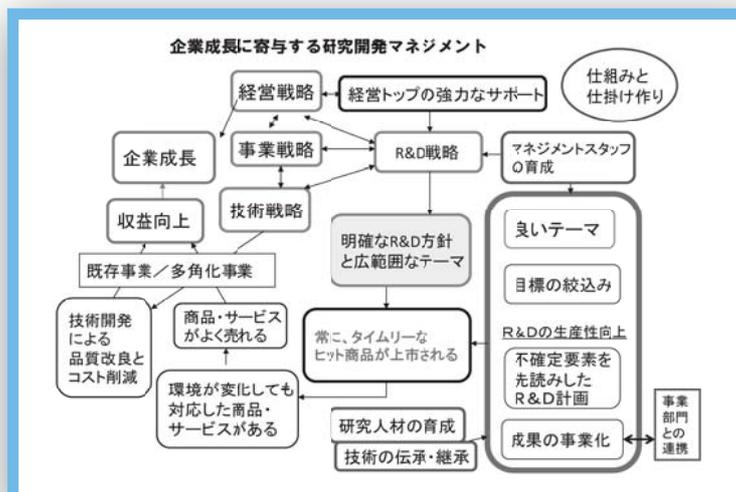
- 1.会の目的達成のため、可能な限りギブアンドテイクをモットーに参画する。
- 2.本音ベースの議論を深めるため、互いの守秘義務を遵守する。
- 3.企業規模、役職、経験に関係なく積極的に参加する。

# 年間スケジュール概要

日程	研究テーマ/講演・討議内容日程
<b>第1部 基礎編</b> ～メンバー交流の促進と問題意識の共有化	
第1回 4/26(木)	<b>基調講演</b> 「我が国の科学技術戦略および産学連携の動向と今後への期待」 ～オープンイノベーションを掛け声だけに終わらせないために～
第2回 5/17(木)	■ <b>メンバー交流会</b> 【ディスカッションテーマ】「企業の成長に寄与するR&Dマネジメントとは」
<b>合宿</b> 第3回 6/22(金)・23(土)	テーマ「メンバー各社におけるR&Dマネジメントの現状と課題」
<b>第2部 応用編</b> ～課題テーマについて会議全体での考察、知見交流	
第4回 7/19(木)	■ <b>7月以降の例会の進め方(9月まで)</b> *例会は以下の流れで進行いたします。 【前半】研究討議テーマに沿ったメンバー発表またはゲスト講演 【後半】前半の内容に連動したグループディスカッション&全体交流 ■ <b>研究討議テーマ</b> *参加メンバーの関心動向に応じて設定いたします。 (例) テーマ・マネジメント(探索、推進、評価) 競争力を高めるR&D戦略の立案 R&D成果の事業化と新規事業創出 R&Dにおける組織と人材のマネジメント
第5回 8/23(木)	
第6回 9/13(木)	
<b>見学会</b> 第7回 10月	企業・大学・公的機関の研究所等の視察見学と意見交流
<b>第3部 実践編</b> ～関心テーマ別に分科会を編成し、各自の課題解決に向けて継続的に議論	
第8回 11/15(木)	■ <b>関心テーマ別分科会</b> 【分科会について】 分科会は関心テーマ別に固定メンバーによるグループを編成し、複数回にわたり集中的に議論します。異業種各社のメンバーが各々の知見を持ち寄り、自己課題解決の考え方、コンセプト、具体的対応策を研究します。  【ご参考】51期分科会テーマ 1. 技術戦略・R&D戦略の策定とテーマの探索・企画 2. R&Dの生産性向上のためのマネジメント 3. イノベーションに挑戦するやる気を引き出すマネジメント  *議論の成果は、各グループから第12回例会でご発表いただきます。
第9回 12/20(木)	
第10回 19 1/10(木)	
<b>合宿</b> 第11回 2/1(金)・2(土)	
第12回 3/14(木)	

## 「R&Dマネジメント交流会議」におけるR&Dマネジメントの体系図

出典 高橋富男 2003年東北大学学位論文



# 前期の活動内容 (2017年4月～2018年3月)

## 第1部<<基礎編>>

\*所属・役職は講演時のものです。

第1回 4/27(木)	『村田製作所のR&Dマネジメントと風土改革』 <span style="float: right;">(株)村田製作所 林 幹生 氏</span>
第2回 5/18(木)	【メンバー交流会】 企業の成長に寄与するR&Dマネジメントとは
第3回 6/16(金)・17(土)	【合宿】 グループディスカッション『メンバー各社のR&Dマネジメントの現状と課題』

## 第2部<<応用編>>

第4回 7/20(木)	『筋の良いテーマとは？どう生むのか？』 <span style="float: right;">元キヤノン(株) 材料技術研究所長 村井 啓一 氏</span>
第5回 8/24(木)	『旭硝子のR&Dマネジメントと課題』 <span style="float: right;">旭硝子(株) 宗吉 亮太 氏</span>
第6回 9/21(木)	『新規事業を生み出す研究開発マネジメント』 <span style="float: right;">T&amp;M研究会 代表 六車 忠裕 氏 (元日東電工(株) 技術企画部長)</span>
第7回 10月	【見学会】 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所(FREA) (福島県郡山市)

## 第3部<<実践編>>

第8回 11/16(木)	分科会討議スタート
第9回 12/21(木)	『村田機械におけるR&Dを核にしたイノベーション創出の取り組み』 <span style="float: right;">村田機械(株) 中尾 敬史 氏</span>
第10回 18 1/11(木)	『コーポレートR&Dにおける新事業創出への取り組み』 <span style="float: right;">積水化学工業(株) 加藤 清一 氏</span>
第11回 2/2(金)・3(土)	【合宿】 分科会討議 講演 『R&Dマネジメントの最近の動向』 <span style="float: right;">東北大学大学院 教授 長平 彰夫 氏</span>
第12回 3/15(木)	【分科会活動報告会】

# 前期(第51期)メンバー

旭硝子(株)	技術本部 商品開発研究所 企画・管理グループ 企画チーム 主席	(株)橋本チエイン	開発・技術センター 開発企画担当参事
旭硝子(株)	技術本部 商品開発研究所 企画・管理グループ 企画チーム テーマ推進ユニットリーダー	T&M研究会	代表
アサヒグループホールディングス(株)	コアテクノロジー研究所 フローラ技術 部長	東急建設(株)	技術研究所 メカトログループ グループリーダー
味の素(株)	バイオ・ファイン研究所 研究管理部 企画・推進グループ	東芝テック(株)	プリンティングソリューション事業本部 技術統括部 技術企画部 戦略企画担当 グループ長
出光興産(株)	先進技術研究所 戦略室 戦略グループ チームリーダー	東北大学	リーディングプログラム推進機構 グローバル安全学教育研究センター 特任教授
出光興産(株)	先進技術研究所	東北大学	大学院 工学研究科 技術社会システム専攻 教授
オリンパス(株)	技術開発部門 技術開発統括本部 RD企画戦略部 部長	豊田合成(株)	商品企画センター 商品開発部 部長
元キヤノン(株)	材料技術研究所長	トヨタ自動車(株)	未来創生センター T-フロンティア部 グローバル企画室 戦略企画グループ
京セラ(株)	研究開発本部 本部室 研究管理部責任者	(株)中北製作所	技術部 開発室 室長
キリン(株)	R&D本部 研究開発推進部 主査	ナミックス(株)	技術開発本部 技術管理グループ グループマネージャー
栗田工業(株)	開発本部 技術開発部門 R&D統括部 研究主幹	日本電気(株)	IoTデバイス研究所 主任研究員
(株)クレハ	樹脂加工研究所 機能材加工研究室 室長	日本電気(株)	IoTデバイス研究所 主任
コニカミノルタ(株)	産業光学システム事業本部 QOLソリューション事業部 技術開発部 システム開発グループ アシスタントマネージャー	日本特殊陶業(株)	技術開発本部 部長
JXTGエネルギー(株)	機能材カンパニー 機能材事業企画部 機能材R&D管理グループマネージャー	パナソニック(株)	イノベーション推進部門 先端研究本部 研究企画部 研究推進課 主幹
(株)ジェイテクト	研究開発本部 研究企画部 研究企画室 主担当	(株)ファンケル	総合研究所 イノベーション研究センター センター長
シスメックス(株)	技術戦略本部 R&D推進部長	(株)ブリヂストン	材料加工技術開発部 材料生産システム企画ユニットリーダー
(株)資生堂	フロンティアサイエンス事業部長	三菱ケミカル(株)	研究開発戦略部 担当部長
昭和シェル石油(株)	石油事業本部 研究開発部 副部長 兼 品質管理課長	三菱マテリアル(株)	中央研究所 材料解析研究部 チームリーダー 主任研究員
積水化学工業(株)	LBプロジェクト事業開発室 企画・営業グループ長	(株)村田製作所	技術・事業開発本部 技術企画統括部 技術管理部長
積水化学工業(株)	R&Dセンター R&D戦略室 係長	(株)村田製作所	技術・事業開発本部 共通基盤技術センター 分析センタ 企画管理係
セントラル硝子(株)	化学研究所 主席研究員	森永製菓(株)	研究所 開発企画部 企画グループ マネージャー
ダイキン工業(株)	テクノロジー・イノベーションセンター 担当部長	ヤマハ発動機(株)	技術本部 技術企画統括部 技術管理部長
太陽誘電(株)	開発研究所 開発企画部 課長	ヤマハ発動機(株)	技術本部 技術企画統括部 技術管理部 技術企画グループ 主務
(株)タムロン	研究開発センター 研究開発課 課長	(株)LIXIL	Technology Research本部 研究戦略統括部 技術戦略推進部 技術リサーチグループ 主査

昭和23年5月、敗戦後の混乱と荒廃の真只中に、当時の有力鉄鋼メーカー中堅幹部(主に経理部門)を中心にして、数人の学者及び経済安定本部調査課の人々からなるインフォーマルな研究懇親会が開かれました。

その後、自動車、造船、紡績、製紙工業などのメーカー有志も加わってくる中で一定の事務局機構を持つフォーマルな会員相互の研究機関への構想が打ち出され、同年12月7日、経済安定本部長官邸で正式名称を「企業研究会」として創立総会が開催されました。

当初、任意団体として発足した本会も研究活動の活発化と会員の増加に並行し、昭和31年3月31日通産大臣認可の社団法人に組織替えがおこなわれ現在にいたっています。

当会は平成25年に創立65周年を迎え、発足時から受け継がれた産・官・学共同による地道な実践研究の伝統は、現在40余りの研究交流事業やビジネス・スクールでの人材養成プログラムなどに見られるとおりますます強化され、比類なき研究機関として期待を集め、それを中心に多様かつ広範な活動が展開されています。

当会の歩みは戦後の経済成長を達成し、近年の国際経営・福祉社会の発展を担う企業の役割と軌をひとつにしているものといえましょう。

## 〔役員・監事〕

会 長	小枝 至
副 会 長	有馬 利男
”	伊藤 一郎
”	葛岡 利明
副会長・専務理事	石山 進
理 事	榮 敏治
”	鈴木 洋
”	津田 晃
”	広瀬 道明
”	内田 幸伯
”	池田 朋之
監 事	谷口 昌己
”	森田 和一
”	牛尾 文昭
評議委員会議長	松本 佳久
評議委員会議副議長	天野 里司
評 議 委 員	太田 克彦
”	鹿島浩之助
”	川村群太郎
”	木村 隆秀
”	小島喜代志
”	杉岡 直人
”	高橋 勝俊
”	田中 恭代
”	玉生 弘昌
”	長尾 裕
”	中村 正陽
”	羽藤 秀雄
”	日高 信彦
”	吉武 博通

日産自動車㈱	相談役
一般社団法人グローバル・コンバクト・ジャパン・ネットワーク	
旭化成㈱	取締役会長
㈱日立製作所	代表執行役 執行役専務
一般社団法人企業研究会	
新日鐵住金㈱	代表取締役副社長
H O Y A ㈱	代表執行役最高経営責任者
㈱西島製作所	社外取締役
東京ガス㈱	代表取締役社長
一般社団法人企業研究会	
一般社団法人企業研究会	
	事務局長
	公認会計士
	客員
	取締役社長
	代表取締役副社長
	代表取締役社長
	代表取締役社長
	取締役監査等委員
	特別顧問
	取締役兼執行役員専務
	取締役
	代表/学習院大学講師
	専務取締役兼専務執行役員
	人事副シニアマネージャー/元 旭化成アミダス㈱ 代表取締役社長
	代表取締役会長
	代表取締役社長
	常務執行役員
	常務取締役
	代表取締役社長
	首都大学東京 理事/筑波大学 名誉教授

## 申込要領

<事業コード：180028>

### 会 費

1名につき

正会員

**280,800円**  
(本体価格 260,000円)

一 般

**313,200円**  
(本体価格 290,000円)

\*資料代・通信費等を含みます。但し、合宿研究会他、特別会合は別途実費をご負担いただけます。  
\*分割、次年度のお支払い等可能です。お気軽にご相談ください。

### 《体験参加について》

第1回例会(4/26)は当交流会議の雰囲気などをご覧いただく為、入会をご検討中の方は無料でご参加いただけます。

### 申込方法

以下 1 2 のいずれかの方法でお申込ください。(体験参加も同様です)

1 企業研究会ホームページ内 申込フォームより

企業研究会 R&D マネジメント交流会議

検索

2 担当者へのメール (以下項目を担当: 木村 kimura@bri.or.jp まで直接ご送信下さい。)

①御社名 ②所在地 ③参加者お名前 ④ご所属・お役職 ⑤E-mail ⑥TEL ⑦正式参加 or 体験参加

\* 正式参加の方には、折り返し請求書をお送り致します。

なお、ご記入いただいた個人情報は、「第52期 R&Dマネジメント交流会議」に関する事務連絡および弊社主催事業のご案内に利用させていただきます。

一般社団法人 企業研究会 「第52期 R&Dマネジメント交流会議」事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2階 TEL:03-5215-3513

担当: 木村徳孝 E-mail:kimura@bri.or.jp